修繕工を選拔して 兩發電所へ配置

職工側の持久戰と

大電社長と

賀川氏と會見

賀川豐彦氏と高崎大電社長との會見は十四日午後某所において行はるゝことになつた、此會見は勞働爭議解決に關する意見の交換だと

第一回實行委員も再起した

特高課長と會見

加々美府警察部特高課長は十四日朝來官舍へ大電及び勞働者兩方面の首腦者を招致し何事か密議を凝らして居たが正午に至り問題の人佐藤安太郎氏が第一回實行委員十三名と共に特別高等課を訪ひ加々美課長に會見を申込み前記諸氏が官舍を辭去すると入代りに官舍で約三十分間に渉る會見を遂げた、一行は官舍を辭すると新聞記者室に現れ佐藤氏は「佐藤は現狀を見るに忍びず遂に起ちました」と言明し會見の經過から再起の決心を語り電業員本部に引揚げ直に調停策に取懸つたが佐藤氏のみは西尾氏の告訴事件で檢事局を訪ひ稍遅れて本部に引揚げた

向上會から金品を贈る

關西勞働組合に加盟せる各種勞働團體では今回の大電爭議に罷業せる職工側に同情し飽まで奮闘するよう縷々金品を寄贈し汽車會社鐵工組合の如き米二十五俵を大八車で送り込んだ事は既報の如くであるが大阪勞働團體中でも四千の會員を有し最も努力ありさせらるゝ砲兵工廠向上會でも昨今有志から金品を本部に提出し十四日朝醵金額百五十餘圓に達したので同會幹部は直に爭議總本部に寄贈した引續き各方面から醵金があるので集まり次第何回にも送付し極力應援する筈尚其他にも縷々應援計畫を立て爭議の波紋は漸次擴大されつゝある

呉服を仕入るならば

一番に武田の確実なる標準相場を見られよ

季節向高等品 豐富
本場結城紬
伊勢崎織物
本セル各種
八王子織物
本場秩父類
桐生産織物
米澤産織物
足利産織物
越後産織物
本場博多帶

大阪南本町中橋東入 呉服問屋 **武田弥商店** 電話船場(四八)(四九)

西尾友愛會主事 檢事局へ召喚

大電爭議と友愛會との關係に關して

友愛會大阪支部主事關西勞働組合聯合會理事西尾末廣氏は十三日夜大阪府西成郡傳法町法泉寺で催された大電罷業職工同情演說會に出席し午後十一時頃自宅へ歸つた處大阪區裁判所檢事局から召喚の葉書が來て居たので十四日午前十時檢事廷で金子檢事から二時間に亘る取調べを受けた後十二時十五分引下つた時節柄大電爭議の一中心人物として世間の注目を惹いて居るだけに「ソレ西尾君が召喚された!」と多數の勞働者が驅付け一時は大騷ぎであつた

と云つたらソレで濟むのです、謂はば同君が告訴したと云ふ遣方は大袈的な仕打だと思ひます、勞働運動者の經文とも見做されて居るエルフルト綱領にも「勞働者にして勞働者を賣る者は資本家よりも敵なり」と云ふ格言がありますが私共は吾々仲間を傷つけ合ひ度くはありません

心配する程の事では無い

金子檢事の談

西尾主事を取調べた金子檢事は檢事局の奥深く書類を繰つて一般新聞記者との面會を避けて居たが記者に對し簡單に「西尾氏を取調べた内容は今事件搜査中に屬するので職務上ウカ〳〵口を利く譯に行かぬ――シカシ心配する程の事でない極つまらぬものである、マー餘り書かずに置いて貰れ給へ――」と語つたかくて午後二時卅分告訴人佐藤安太郎氏も大阪區裁判所檢事局に出頭し直に例の第三號檢事廷に入り金子檢事の取調べを受けた

赤軍が取卷た 宮崎社長の擬首